

下水道工事標準仕様書 新旧対照表

新	旧	備 考
<p>2. 管 路</p> <p>(略)</p> <p>1.3 マンホール継手の使用</p> <p>1. 硬質塩化ビニル管の布設にあたっては、汚水及び合流の場合、く ら型マンホール継手(MRK 又は MRK-PRP)を使用しなければならない。 雨水についてはマンホール継手(MR、MSA 又は MR-PRP、MSA-PRP) を使用しなければならない。</p> <p>2. 鉄筋コンクリート管の布設にあたっては、雨水、汚水又は合流の どの場合においても、マンホール接合部に短管 (50cm 以上 170cm 以下) を使用しなければならない。なお、管割について検討のうえ、 施工計画書に明記し監督員に提出しなければならない。</p>	<p>2. 管 路</p> <p>(略)</p> <p>1.3 マンホール継手の使用</p> <p>1. 硬質塩化ビニル管の布設にあたっては、汚水及び合流の場合、く ら型マンホール継手(MRK 又はMRK-PRP)を使用しなければならない。 雨水についてはマンホール継手(MR、MSA 又は MR-PRP、MSA-PRP)を 使用しなければならない。</p> <p>2. 鉄筋コンクリート管の布設にあたっては、雨水、汚水又は合流の どの場合においても、マンホール接合部に短管 _____ _____ を使用しなければならない。なお、管割について検討のうえ、 施工計画書に明記し監督員に提出しなければならない。</p>	<p>(追加)</p>